

埼玉県立大学 地域包括ケア推進セミナー

第4回 地域課題の把握方法を学ぼう（2019年6月20日）

地域マネジメントの基本的進め方と 今回のセミナー内容について

埼玉県立大学大学院／研究開発センター

川越雅弘

Kawagoe-masahiro@spu.ac.jp

マネジメントとは

【マネジメントとは】

- ピーター・ドラッカーはマネジメントのことを「**人と組織を活かして成果を上げること（＝課題を解決すること）**」と定義している。

例：ケアマネジメントの目的とケアマネジャーの役割

【ケアマネジメントの目的】

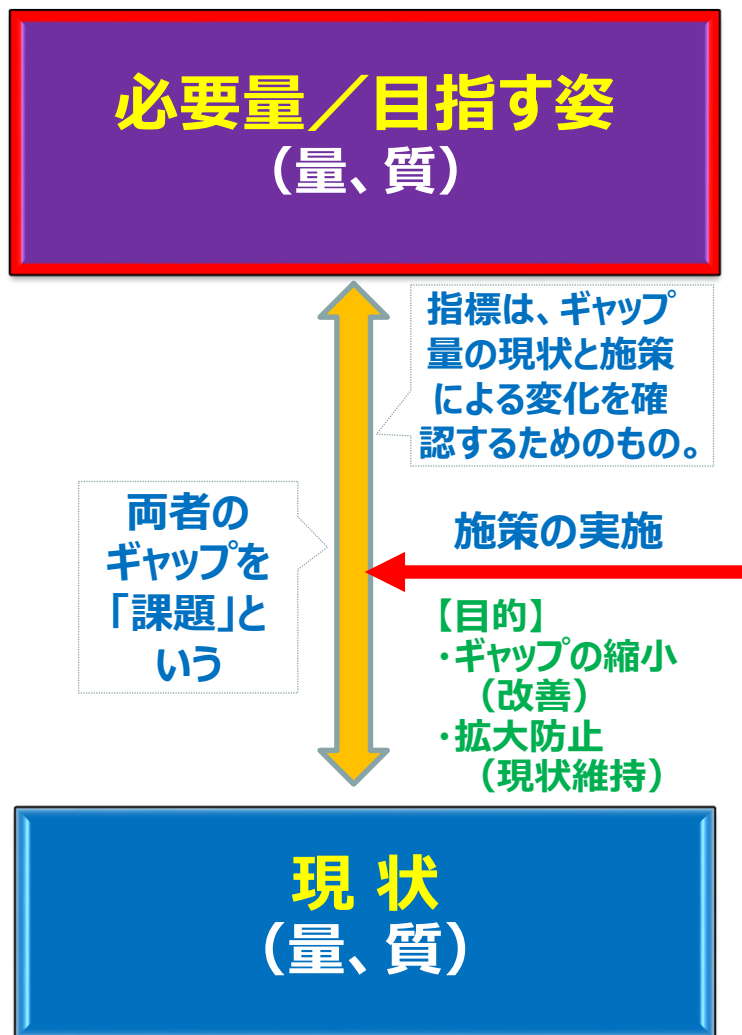
- 本人が望む自分らしい生活が送れるよう（＝成果）、本人の生活機能の維持・向上を出来るだけ支援すること。
→このことが、結果として、要介護度の維持・向上にも貢献する。

【ケアマネジャーとは】

- 本人が望む自分らしい生活とは何か」を情報収集した上で、①現状とのギャップの評価（課題の抽出）、②解決すべき課題の絞り込み、③それら課題を生じさせている原因の追求（課題分析）、④多職種による課題改善／解決策の検討と実践を通じて、課題を実際に改善・解決できる人のこと

「マネジメントの対象である課題」と「対策」と「指標」の関係性

図. 課題／対策の関係性



マネジメントの基本的視点

- マネジメントとは「課題」を対象とするもの。
- 課題とは、目指す姿（ゴール）と現状のギャップのこと。したがって、「**目指す姿の設定**」が必須となる。
- 課題の対象は、①体制整備に関するもの、②機能に関するもの（質）に大別される。
- 対策には、①改善を目指すもの、②リスク回避により課題の拡大防止を目指すものがある。前者は、「現状」を「目指す姿」に近づけることで課題の改善ないし解決を図るもの。

⇒**地域マネジメントでは、「現状」を「目指す姿」に近づけるために何をすべきか（施策）を考える。**

- 指標は、①現状や課題を把握する、②施策等により課題が改善に向かっているかどうか（現状が目指す姿に近づいているか、どの程度近づいたか）を確認するためのもの。
- 指標には、①提供量の確保とその利用状況に関するもの（ストラクチャー、プロセス中心）、②機能とその効果に関するもの（ストラクチャー、プロセス、アウトカム）がある。

地域マネジメントの流れとは（概念図）

